

項目CD	名称	臨床的意義
000001	血清総蛋白	血清総蛋白は栄養状態や全身状態の指標となります
000002	アルブミン	アルブミンは栄養状態や肝機能を反映する指標となります
000003	A/G比	肝機能障害や栄養不良で低下します
000011	ZTT	肝疾患で高値となります
000043	ビリルビン（総）	肝胆道系障害の指標となります
000044	ビリルビン（直）	胆道系障害で上昇します
000045	間接ビリルビン	肝機能障害で黄疸の原因となります
000046	ALP	肝胆道・骨疾患、成長期や妊娠時に高値となります
000058	ALP(IFCC)	肝胆道・骨疾患、成長期や妊娠時に高値となります
000049	AST (GOT)	肝障害や筋障害で上昇します
000050	ALT (GPT)	肝細胞障害で上昇します
000051	LD (LDH)	肝臓病、心臓病、血液の病気で高値を示します
000052	γ-GT (γ-GTP)	肝臓や胆道の障害、アルコール性肝障害で高値となります
000053	LAP	胆道障害や妊娠で上昇します
000054	コリンエステラーゼ (ChE)	肝臓の合成能を反映します
000055	アミラーゼ（血中）	膵・唾液腺疾患で上昇します
000057	CK (CPK)	筋障害や心筋障害、過激な運動後は高値となります
000061	LD(JSCC)	肝臓病、心臓病、血液の病気で高値を示します
000070	リパ-ゼ	膵臓の病的変化を知ることができます
000072	尿アミラーゼ/H	膵臓・だ液腺の疾患で上昇します
000056	アミラーゼ（随時尿）	膵臓・だ液腺の疾患で上昇します
000091	総コレステロール	脂質代謝異常の指標動脈硬化の診断・経過に有用です
000092	HDLコレステロール	善玉コレステロール、低値の場合は各種動脈硬化症に注意が必要です
000093	H/T	総コレステロール中の善玉比率低値は動脈硬化に注意が必要です
002268	LDL/HDL比	LDL/HDL比を見ることで動脈硬化の指標となります
002546	LDLコレステロール	悪玉コレステロール、高値の場合は各種動脈硬化症に注意が必要です
001908	non-HDL	冠動脈疾患リスクの指標となります
000095	中性脂肪(TG)	生活習慣病の指標となります
000098	リン脂質(PL)	家族性高リパ-蛋白血症、甲状腺低下症、胆道疾患で高値
000103	総コレステロール計算法	脂質代謝異常の指標動脈硬化の診断・経過に有用です
000106	UN (BUN)	腎臓の腎排泄低下で高値、高蛋白摂取でも高値となります
000107	クレアチン	腎臓の腎排泄低下で高値、高蛋白摂取でも高値となります
002309	eGFR	腎臓のろ過機能を評価します
007140	リパ-ゼ	膵臓の病的変化を知ることができます
000109	尿酸 (UA)	痛風や腎障害で上昇します
000110	血中アンモニア	肝機能の重症度を推測します

000115	尿中尿素窒素	尿中の排泄量を測定します
000111	/day	1日の排泄量を測定します
000116	尿中クレアチン	尿中の排泄量を測定します
000112	/day	1日尿中排泄量を測定し、腎機能評価の指標となります
000118	尿中尿酸	尿中の排泄量を測定します
000114	/DAY	1日の排泄量を測定し、高尿酸血症の鑑別で用います
000119	尿中マグネシウム	尿中の排泄量を測定します
000141	/day	1日の排泄量を測定し、Mg欠乏症の診断に有用です
000130	ナトリウム(Na)	体液イオン濃度を測定し、バランス異常から障害を診断します
000131	塩素(Cl)	体液イオン濃度を測定し、バランス異常から障害を診断します
000132	カリウム(K)	高値は腎障害やカリウム過剰、低値は薬剤影響を考慮します
000133	カルシウム(Ca)	骨中に多く含まれ、骨疾患や内分泌疾患の際変動します
000134	無機リン(IP)	骨中に多く含まれ、骨疾患や内分泌疾患の際変動します
000135	マグネシウム(Mg)	骨・筋肉に多く、腎障害で高値、下痢や薬剤で低値を示す
000143	血清浸透圧	脱水・昏睡時の体液恒常性指標水分摂取や尿濃縮能を反映
000144	尿浸透圧	脱水・昏睡時の体液恒常性指標水分摂取や尿濃縮能を反映
000146	血清鉄(Fe)	鉄欠乏性貧血の時に低値になります
000147	TIBC	鉄欠乏性貧血などで高値になります
000148	UIBC	鉄欠乏性貧血などで高値になります
000151	血清銅(Cu)	Wilson病をはじめとする銅代謝異常の診断指標です
000155	血清亜鉛(Zn)	亜鉛不足により皮膚炎や味覚障害などを来すことがあります
008377	亜鉛/血清銅比	亜鉛・銅比異常は両者の体内バランス破綻が原因です
000171	血糖	糖尿病や糖質過剰摂取時に高値になります
000176	尿中ナトリウム	尿中の排泄量を測定します
000136	/day	1日の排泄量を測定します
000177	尿中塩素	尿中の排泄量を測定します
000137	/day	1日の排泄量を測定します
000178	尿中カリウム	尿中の排泄量を測定します
000138	/day	1日の排泄量を測定します
000179	尿中カルシウム	尿中の排泄量を測定します
000139	/day	1日の排泄量を測定します
000180	尿中無機リン	尿中の排泄量を測定します
000140	/day	1日の排泄量を測定します
000220	CK-MB	心筋梗塞の早期診断・経過観察に有用です
000255	ビタミン B12	血清ビタミンB12濃度から欠乏状態を判定します
000256	葉酸	血清葉酸濃度測定で欠乏状態を評価します
000572	HbA1c	過去1～3か月の血糖状態を反映し、糖尿病管理に有用です

000621	CRP定量	急性炎症や組織損傷で増加し、経過観察に有用です
000662	リウマチ因子定性	関節リウマチの判定・経過観察に有用膠原病や肝疾患でも高値
001165	蛋白 部分尿	尿蛋白量を示し、腎・尿路異常や感染で高値になります
001166	(蓄尿)	1日尿蛋白量を測定し、腎・尿路機能異常で高値になります
001168	尿糖 部分尿	尿中ブドウ糖量を示し、糖尿病や腎機能障害で高値になります
001169	(蓄尿)	1日尿中排泄量を測定し、糖尿病や腎機能障害で高値
001203	25OHビタミンD(ECLIA法)	原発性骨粗鬆症でのビタミンD欠乏状態を把握できます
001204	尿中Ca/CRE比	1日尿蛋白量を推定・評価高値は腎障害を示唆します
001557	糸球体C	糸球体濾過率の指標で初期腎機能障害の鑑別に有用です
002533	e-GFRcys	血清シスタチンCの値を用いて算出した推算糸球体濾過率です
002122	LDL-CH計算法	悪玉コレステロール、高値の場合は各種動脈硬化症に注意が必要です
002129	リウマチ因子定量	関節リウマチの判定・経過観察に有用膠原病や肝疾患でも高値
002152	LDL-CHO	悪玉コレステロール、高値の場合は各種動脈硬化症に注意が必要です
002187	1, 5AG	直近又は過去数日間の血糖コントロールの指標となります
002471	HBA1c	過去1～3か月の血糖状態を反映し、糖尿病管理に有用です
002474	グリコアルブミン	過去約1～2週間の血糖コントロールの指標となります
002665	GA-ga	
002666	GA-alb	
002714	U蛋白/CRE値	1日尿蛋白量を推定・評価し、高値は腎障害を示唆します
004140	血糖（血清）	糖尿病や糖質過剰摂取時に高値になります
007050	食塩摂取量	1日の食塩摂取量を推定し、減塩指導の指標となります
007107	尿中ナトリウム	尿中の排泄量を測定します
007108	尿中カルシウム	尿中の排泄量を測定します
000358	TSH(甲状腺刺激ホルモン)	脳下垂体由来で甲状腺ホルモン分泌を調節する指標です
000362	FT3(遊離三碘甲状腺素)	甲状腺刺激ホルモン分泌を抑制し、甲状腺機能を調節します
000365	FT4(遊離四碘甲状腺素)	甲状腺ホルモンで、高値は甲状腺機能亢進症が疑われます
000367	Tg(甲状腺グロブリン)	甲状腺分化癌やバセドウ病の経過・治療効果把握に有用です
000368	抗甲状腺グロブリン抗体 (TgAb)	自己免疫性甲状腺疾患の検査。高値は橋本病やバセドウ病を疑う
001638	TSHレセプター抗体定量(第1)	自己抗体の一つですバセドウ病などの時に上昇します
000489	PTH-intact	副甲状腺ホルモンで、機能亢進症などで高値になります
001532	total P1NP	骨形成の程度を数値で示す指標になります
000371	インスリン(IRI)	膵臓から分泌されるホルモンで、血糖値を下げる役割をします
000482	h-ANP(ヒト心房性Na利尿)	心臓負荷の指標で、透析時の体重管理にも有用です
002593	NT-proBNP	心臓の負荷の程度を示します心不全の時に高値になります
002914	BNP	心臓の負荷の程度を示します心不全の時に高値になります
000683	KL-6(シアル化糖鎖抗原KL-6)	間質性肺炎で上昇します
000729	尿アルブミン定性	糖尿病性腎症の早期診断に有用です

000730	尿中アルブミン定量	尿中排泄量測定により糖尿病性腎症の早期診断に有用です
008084	(U-ALB)	尿中のアルブミンを測定します
008085	(U-CRE)	尿中のクレアチンを測定します
002007	フェリチン定量	貯蔵鉄の量を反映しています長期の貯蔵状態がわかります
002008	β2-マイクログロブリン	血中マイクログロブリン上昇から腎障害部位を推測します
000674	血清補体価(CH50)	慢性関節リウマチや感染症で上昇、急性糸球体腎炎で低下します
000715	C3	補体異常や悪性関節リウマチの経過観察に有用です
000716	C4	補体異常や悪性関節リウマチの経過観察に有用です
000701	IgG	免疫不全や感染症、腫瘍、自己免疫疾患の病態を反映します
000702	IgA	免疫不全や感染症、腫瘍、自己免疫疾患の病態を反映します
000703	IgM	免疫不全や感染症、腫瘍、自己免疫疾患の病態を反映します
002461	抗CCP抗体	関節リウマチで高値となる自己抗体早期診断に有用です
002707	MMP-3	関節リウマチで高値となり、関節破壊の程度を反映します
000622	ASO	溶血毒素に対する抗体で、溶連菌感染症の診断に有用です
000653	梅毒定性 RPR法	梅毒感染の確認検査です
000656	梅毒定性 TPHA法	梅毒感染の確認検査です
000657	梅毒定量 RPR法	
000660	梅毒定量 TPHA法	
002448	ヘリコバクターヒト抗体	ヒト感染の有無を調べるスクリーニング検査です
002729	判定	
000901	HBs抗原 定性	B型肝炎感染の有無を判定します
000902	HBs抗体 定性	陽性でB型肝炎ウイルスの既感染や免疫を示します
000906	HBs抗原 定量	B型肝炎感染の有無を判定します
007483	判定	
000907	HBs抗体 定量	陽性でB型肝炎ウイルスの既感染や免疫を示します
007484	判定	
000908	HBe抗原	B型肝炎ウイルスの感染性や活動性を判定します
007489	判定	
000909	HBe抗体	慢性B型肝炎の経過観察や肝炎活動性の低下把握に有用です
009582	判定	
000910	HBc抗体	HBc抗体陽性はB型肝炎ウイルス既感染を示します
007486	判定	
001178	HBs抗体 半定量	陽性でB型肝炎ウイルスの既感染や免疫を示します
001179	判定	
002031	HCV抗体	C型肝炎感染の有無を判定します
002429	カット値	
000498	HCV抗体(第3世代)	陽性でC型肝炎ウイルス感染を示唆し、陰性は感染なし

007112	判定	
000455	CA19-9	膵臓・胆道系の腫瘍マーカーです
000456	CA15-3	乳癌の腫瘍マーカーです
000457	CA125	卵巣癌などの腫瘍マーカーです
000462	SCC抗原	SCC抗原上昇により扁平上皮癌の存在を示唆します
000469	AFP定性	肝細胞癌を中心とした腫瘍マーカーです
000552	PIVKA-II	肝細胞癌を中心とした腫瘍マーカーです
002005	CEA	C E A : 悪性腫瘍の指標です
002006	AFP定量	肝細胞癌を中心とした腫瘍マーカーです
002013	高感度PSA	前立腺癌の腫瘍マーカーです
002483	シテラ(サイトケラチン19アグメント)	シテラ上昇により非小細胞肺癌や扁平上皮癌を示唆します
002949	前立腺特異抗原PSA	前立腺癌の腫瘍マーカーです
000501	白血球数 (WBC)	細菌感染や白血病で増加し、ウイルス感染では低下します
000502	赤血球数 (RBC)	赤血球数から貧血の有無や血液疾患を評価します
000503	血色素量 (Hb)	Hb値から貧血の有無や血液疾患を評価します
000504	Hマトクリット (HT)	Hマトクリット値から貧血の有無や血液疾患を評価します
000506	血小板数 (PLT)	血小板減少で止血能が低下し、肝硬変でも低値します
000507	MCV	平均赤血球容積 低値で鉄欠乏性貧血が考えられます
000508	MCH	平均赤血球色素量
000509	MCHC	平均赤血球色素濃度
000510	全血比重	比重が低い場合には貧血が疑われます
000505	網状赤血球数	造血回復時に増加し、貧血改善の指標となります
000511	血液像	
000499	NEUT	炎症や各種感染症で上昇します
000512	ST	杆状核球割合を示し、核分葉比から感染症の程度を評価
000513	SEG	分葉核球割合を示し、杆状核球比から感染症を評価
000514	好酸球 (Eos)	ぜんそくや各種アレルギーが関与すると上昇します
000516	リンパ球 (Lym)	急性感染症などで上昇します
000517	単球 (Mon)	発疹性感染症 (風疹・麻疹など) で上昇します
000518	異型リンパ球	ウイルス感染症や自己免疫性疾患などで出現します
000582	プロトロンビン時間(PT)	血液中にある凝固因子の働きを調べる検査です
002128	PT-活性値	凝固因子異常、肝臓病、投薬などにより低下します
002964	PT-INR	国際標準比ですワファリン服用量の目安にもなります
000583	APTT	内因系凝固能を評価し、凝固因子異常で延長します
000586	フィブリンゲン定量	血液凝固因子の一つで、出血・血栓傾向の指標になります
000588	FDP	血栓症の診断や血栓傾向の評価に有用です
002745	D-Dダイマー	凝固・線溶系異常を反映し、血栓症の評価に有用です

001469	ヒトヘ精密 1回目	便中の微量出血を検出し、大腸癌など消化管出血の発見に有用
001470	ヒトヘ精密 2回目	便中の微量出血を検出し、大腸癌など消化管出血の発見に有用
001672	虫卵名	
001673	判 定	
001675	虫卵名	
001676	判 定	
001683	便ヒトヘ定性	便中の微量出血を検出し、大腸癌など消化管出血の発見に有用
003135	便ヒトヘ定性 2回目	便中の微量出血を検出し、大腸癌など消化管出血の発見に有用
001692	ヒトヘ精密	便中の微量出血を検出し、大腸癌など消化管出血の発見に有用
003105	便ヒトヘ1	便中の微量出血を検出し、大腸癌など消化管出血の発見に有用
003100	便ヒトヘ2	便中の微量出血を検出し、大腸癌など消化管出血の発見に有用
003111	便ヒトヘ3	便中の微量出血を検出し、大腸癌など消化管出血の発見に有用
003136	便ヒトヘ定性 3回目	便中の微量出血を検出し、大腸癌など消化管出血の発見に有用
009580	ヒトヘ精密 1日目	便中の微量出血を検出し、大腸癌など消化管出血の発見に有用
009581	ヒトヘ精密 2日目	便中の微量出血を検出し、大腸癌など消化管出血の発見に有用
000705	IgE(非特異的IgE)	アレルギーが関与する時に上昇します